

においては、小学校では屋外運動場、教室、屋内運動場、体育遊具施設での発生件数が特に多い。中学校、高等学校では屋外運動場、屋内運動場での発生件数が特に多い(表5-1-5)。

時間別においては、小学校では休憩時間の発生件数が極めて多く、次いで体育時間の発生件数が多い。中学校では体育的部活動、休憩時間、体育時間の発生件数が特に多い。高等学校では体育的部活動が特に多く、次いで体育時間の発生件数となっている(表5-1-6)。

原因別においては、小・中・高等学校とも転倒が特に多く、次いで人や物にぶつかる等の発生件数が多くなっている(表5-1-7)。

表5-1-7 原因別災害事故発生件数

(単位：件)

原因	小学校	中学校	高等学校	合計
転倒する	1,603	1,210	605	3,418
落ちる	509	102	62	673
人とぶつかる	352	562	268	1,182
物とぶつかる	620	455	146	1,221
物があたる	338	522	276	1,136
物がささる	78	37	15	130
バランスをくずす	136	259	246	641
つまずく ふみはずす	344	301	55	700
けられる ふまれる	82	152	86	320
投げられる	20	94	96	210
なぐられる	40	81	18	139
はさまれる	137	96	33	266
捕球するとき	269	369	196	834
投げるとき	2	52	13	67
着地不良	249	348	275	872
手つき不良	103	77	31	211
漆・害虫 薬品等	59	18	15	92
高温にふれる	66	44	11	121
刃物等で切る	253	181	44	478
急激・相当 量の運動	57	168	129	354
その他	66	16	17	99
合計	5,383	5,144	2,637	13,164

注：「学校管理下の児童生徒の災害の実態」(昭58)による。

表5-1-5 場所別災害事故発生件数

(単位：件)

場所	小学校	中学校	高等学校
校舎内			
教室	1,032	595	103
屋内運動場	880	1,623	933
廊下	272	284	42
階段・昇降口	329	201	49
その他	80	129	170
小計	2,593	2,832	1,297
校舎外			
屋外運動場	1,346	1,464	850
体育遊具施設	601	35	14
その他	199	212	67
小計	2,146	1,711	931
学校外			
道路	383	251	156
運動競技場	33	266	198
その他	228	84	55
小計	644	601	409
合計	5,383	5,144	2,637

注：「学校管理下の児童生徒の災害の実態」(昭58)による。

表5-1-6 時間別災害事故発生件数

(単位：件)

時間	小学校	中学校	高等学校
体育	1,002	1,063	665
体育以外の教科	247	132	53
学校行事	345	337	181
行事以外の特別活動	451	233	61
体育的部活動	151	1,514	1,336
体育以外の課外活動	90	40	15
休憩時間	2,721	1,313	179
寄宿舎にあるとき	0	1	8
通学中	376	209	139
合計	5,383	5,144	2,637

注：「学校管理下の児童生徒の災害の実態」(昭58)による。

したがって、今後は、学校管理下の災害事故を防止するため、児童生徒の発達段階に応じた安全教育の充実及び安全管理の徹底に努める必要がある。

② 児童生徒の交通事故

昭和58年度の交通事故の発生状況を見ると、死者数は、小学校では6人、中学校では2人、